

ナンバリング	B①09	科目名	乳児保育Ⅱ
担当形態	単独	担当教員	田中 悦子
ディプロマポリシーとの関連性	①, ②		
テキスト	「やさしい乳児保育」 青踏社		
開講時期	後期	単位数・ 授業形態	1単位 演習
到達目標	<p>1. 3歳未満児の発育・発達の過程や特性を踏まえた援助や関わりの基本的な考え方について理解する。</p> <p>2. 養護及び教育の一体性を踏まえ、3歳未満児の子どもの生活や遊びと保育の方法及び環境について、具体的に理解する。</p> <p>3. 乳児保育における配慮に実際について、具体的に理解する。</p> <p>4. 上記1～3を踏まえ、乳児保育における計画の作成について、具体的に理解する。</p> <p>※「乳児保育」とは、3歳未満児を念頭に置いた保育を示す。</p>		
授業の概要	<p>乳児保育体験での経験を振り返りながら、養護及び教育の一体性を踏まえた乳児保育の内容と方法を学ぶ。(乳児保育体験からの学びをグループで討議を行う)</p> <p>また、個々の生活リズムを大切にする乳児保育の計画や環境構成等とその際の配慮の実際についての具体的に理解を深める。(調乳・排泄等の演習を通して乳児保育の援助・配慮・環境構成等について具体的に学ぶ)</p>		
授業計画	<p>第1回 「乳児保育Ⅰ」の学習内容の確認と振り返り(前期試験返却)</p> <p>第2回 乳児保育における環境構成 ～環境を通した関わり～</p> <p>第3回 乳児保育における環境構成 ～遊びの環境づくり～</p> <p>第4回 発育・発達を踏まえた生活と援助の実際 ～授乳等～</p> <p>第5回 保育者の役割① 乳児保育体験を通して ～自己の育ち、学びの芽生えを育む～</p> <p>第6回 保育者の役割② 乳児保育体験を通して ～受容的・応答的な関わり・個に応じた援助～</p> <p>第7回 保育者の役割③ 乳児保育体験を通して ～子どもと保育者の関係性～</p> <p>第8回 発育・発達を踏まえた遊びと援助の実際 ～手遊び・絵本～</p> <p>第9回 発育・発達を踏まえた遊びと援助の実際 ～排泄～</p> <p>第10回 発育・発達を踏まえた遊びと援助の実際 ～玩具づくり～</p>		

	<p>第 11 回 乳児保育における配慮の実際 ～健康・安全～</p> <p>第 12 回 発育・発達を踏まえた遊びと援助の実際 ～手作り玩具を通した遊び～</p> <p>第 13 回 乳児保育における計画・記録・評価とその意義 ～長期・短期の計画の実際～</p> <p>第 14 回 後期試験(50 分) これまでの振り返り</p> <p>第 15 回 乳児保育Ⅱの学習内容の確認と振り返り</p>				
準備学習と必要時間	<p>・毎回 60 分は予習復習時間をとること (復習では、授業内で学んだことを整理し、レジメまたはノートにまとめること)</p>				
評価方法	<p>・乳児保育体験の振り返りについてのレポート 10%</p> <p>・授業での取り組み(グループ討議への積極的な取り組みや発言内容) 10%</p> <p>・振り返りワーク等の提出物 10%</p> <p>・手作り玩具提出 10%</p> <p>・期末試験 60% (再試験あり・おおよそ試験結果発表後 2 週間以内)</p>				
参考文献	「保育所保育指針解説」厚生労働省編				
特記事項 課題へのフィード バック方法	<p>【特記事項】</p> <p>・演習・グループ討議を行う予定のため、積極的な参加を期待する</p> <p>【課題へのフィードバック方法】</p> <p>・振り返りワーク・期末試験後に模範解答を提示して解説を行います。</p>				
卒業・免許状・資格 との関連	卒業		幼稚園教諭免許状		
	その他		保育士資格	必修	保育の内容・方法に関する科目
教員の実務経験					